令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人墨田区文化振興財団
施設名	すみだトリフォニーホール
内定額	27,717　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型(公演・人材・普及)が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
公-01	ゲザ・ホッス＝レゴツキ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団	2025年5月31日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-02	After80 ～ すみだ発 平和の橋を音楽で繋ぐプロジェクト 平和祈念音楽祭2025	2025年8月9日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-03	下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト 第12回 交響曲の魅力徹底解剖！	2025年8月16日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-04	フィリップ・ジャルスキー＆ティボー・ガルシア　デュオ・リサイタル	2025年10月7日(火)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-05	赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も、みんなで楽しむオーケストラ！ ようこそ！誰でもコンサート	2025年11月14日(金) 2025年11月15日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-06	トリフォニーホール・パイプオルガン・クリスマス・コンサート2025	2025年12月13日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-07	新日本フィル　ニューイヤー・コンサート2026 in すみだ曳舟《落語＆オーケストラ》	2026年1月4日(日)	曳舟文化センター 劇場ホール
公-08	トリフォニーホール・ゴルトベルク変奏曲2025 ダヴィッド・フレイ ピアノ・リサイタル	2025年11月1日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-09	ミシェル・カミロ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団	2025年5月17日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール
公-10	すみだトリフォニーホール特別寄席「すみだと落語」	2026年2月1日(日)	すみだトリフォニーホール 小ホール
普-01	新日本フィル・アウトリーチ・プログラム『トリフォニーホール&新日本フィルの「直伝！ワクワク音楽道」(小学校編)・「直伝！トコトン音楽道」(中学校編)』	2025年6月～2026年3月 (最終日　2026年3月13日(金))	墨田区内小中学校
普-02	新日本フィル・アウトリーチ・プログラム『ふれあいコンサート』	2025年7月～2026年3月 (最終日　2026年3月25日(水))	墨田区内施設
普-03	新日本フィル「音楽療育アウトリーチ」事業	2025年12月17(水)・18日(木) 2026年2月18日(水)・3月6日(金) 2026年3月9日(月)・10日(火)	すみだ保健子育て総合センター 第一寺島小学校 隅田小学校
普-04	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	2025年4月～2026年3月 (最終日　2026年3月22日(日))	すみだトリフォニーホール
普-05	墨田区立中学校への音楽指導 すみだブラスクリニック	2025年7月～2026年2月 (最終日　2026年2月27日(金))	墨田区内中学校
普-06	すみだ音楽祭2025～向こう3軒両隣　あなたの隣の音楽家～	2025年8月17日(日) 2025年8月23日(土) 2025年8月24日(日)	すみだトリフォニーホール大ホール・小ホール
普-07	オルガンに親しむプログラム オルガンコンサート＆バックステージツアー	2025年8月26日(火) 2025年10月2日(木) 2026年1月26日(月) 2026年2月12日(木)	すみだトリフォニーホール大ホール

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	23	27	23
	公演事業	14	16	16
	（内、本助成対象事業本数）	0	7	10
	人材養成事業	2	2	0
	（内、本助成対象事業本数）	0	2	0
	普及啓発事業	7	9	7
	（内、本助成対象事業本数）	0	5	7
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください			

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	603	626	645
	ホール名：大ホール　座席数：1801	298	317	319
	ホール名：小ホール　座席数：252	305	309	326
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	34,231	36,601	35,525
	公演事業	20,621	22,286	20,891
	人材養成事業	1,180	2,457	0
	普及啓発事業	12,430	11,858	14,634
	共生社会事業			
	その他　内容：			
	貸館事業入場者・参加者数	113,939	182,380	169,879
	その他　内容：共催・共同主催	56,721	62,129	64,874
	計	204,891	281,110	270,278
開館日数		298	317	326
施設の利用可能日数（＝365－（保守点検日数+休館日数））		298	317	326
施設の利用日数		266	308	315
施設の利用率(%)（＝利用日数/利用可能日数）		89.3%	97.2%	96.6%

備考	令和7年度より、人材養成事業2事業については普及啓発事業へ移行

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	13	16	20,621		13					
	共催・提携公演（※2）	30	37	56,721		30					
	貸館公演	0	407	113,939							
	計	43	460	191,281							
令和6年度	主催公演（※1）	17	20	22,286		16		1			
	共催・提携公演（※2）	40	48	62,129		40					
	貸館公演	0	424	182,380							
	計	57	492	266,795							
令和7年度	主催公演（※1）	16	18	20,891		15		1			
	共催・提携公演（※2）	50	87	64,874		42		8			
	貸館公演	0	381	169,879							
	計	66	486	255,644							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	ゲザ・ホッス＝レゴツキ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,103	62.6%	①公演満足度　上位第1位	70%以上	75.8%
		実績値	847	48.0%	②チケット料金適正価格　上位第1位	50%以上	64.8%
公-02	After80 ～ すみだ発 平和の橋を音楽で繋ぐプロジェクト 平和祈念音楽祭2025	目標値	1,702	80.7%	①公演満足度　上位第1位	65%以上	81.3%
		実績値	1,847	87.5%	②チケット料金適正価格　上位第1位	55%以上	46.4%
公-03	下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト 第12回 交響曲の魅力徹底解剖！	目標値	1,104	70.8%	①公演満足度　上位第1位	70%以上	79.8%
		実績値	1,061	68.1%	②チケット料金適正価格　上位第1位	60%以上	61.0%
公-04	フィリップ・ジャルスキー＆ティボー・ガルシア　デュオ・リサイタル	目標値	1,163	74.6%	①公演満足度　上位第1位	65%以上	92.9%
		実績値	707	45.3%	②チケット料金適正価格　上位第1位	50%以上	54.0%
公-05	赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も、みんなで楽しむオーケストラ！ ようこそ！ 誰でもコンサート	目標値	2,000	62.5%	①公演満足度　上位第1位	80%以上	87.7%
		実績値	2,246	70.1%	②チケット料金適正価格　上位第1位	80%以上	81.0%
公-06	トリフォニーホール・パイプオルガン・クリスマス・コンサート2025	目標値	2,600	73.6%	①公演満足度　上位第1位	70%以上	74.3%
		実績値	2,770	78.4%	②チケット料金適正価格　上位第1位	75%以上	79.5%
公-07	新日本フィル　ニューイヤー・コンサート2026 in すみだ曳舟《落語＆オーケストラ》	目標値	430	76.8%	①公演満足度　上位第1位	60%以上	67.7%
		実績値	529	94.5%	②チケット料金適正価格　上位第1位	70%以上	58.5%
公-08	トリフォニーホール・ゴルトベルク変奏曲2025 ダヴィッド・フレイ　ピアノ・リサイタル	目標値	967	80.5%	①公演満足度　上位第1位	65%以上	81.1%
		実績値	610	50.8%	②チケット料金適正価格　上位第1位	55%以上	52.2%
公-09	ミシェル・カミロ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,163	71.3%	①公演満足度　上位第1位	80%以上	92.4%
		実績値	916	56.2%	②チケット料金適正価格　上位第1位	50%以上	56.4%
公-10	すみだトリフォニーホール特別寄席「すみだと落語」	目標値	240	97.6%	①公演満足度　上位第1位	70%以上	57.6%
		実績値	225	91.5%	②チケット料金適正価格　上位第1位	55%以上	45.1%

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人墨田区文化振興財団
施設名	すみだトリフォニーホール
内定額	27,717　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	ゲザ・ホッス＝レゴツキ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団	入場率は目標未達となり、有料入場者数もわずかに届かなかった。設定値を抑えていたにもかかわらず達成に至らず、広報には注力したものの、日本での知名度の低さを補う工夫が不足していた。一方で、来場者満足度および料金の妥当性については概ね適正な評価を得た。
公-02	After80 ～ すみだ発 平和の橋を音楽で繋ぐプロジェクト 平和祈念音楽祭 2025	入場者数は目標を上回り、満足度も高い評価となった。一方で、チケット価格に関する評価は目標に届かず、来場者にとって価格がやや高い印象があった可能性がある。
公-03	下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト 第 12 回 交響曲の魅力徹底解剖！	入場者数は目標にわずかに届かなかったが、料金の適正評価および有料入場者数は概ね目標水準を確保し、満足度は目標を上回った。内容が来場者ニーズと合致していたことが要因と考えられる。
公-04	フィリップ・ジャルスキー＆ティボー・ガルシア デュオ・リサイタル	入場者数は目標を大きく下回り厳しい結果となったが、公演満足度は非常に高く、来場者の関心とは強く一致していた。今後は告知手法のさらなる工夫が必要である。
公-05	赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も、みんなで楽しむオーケストラ！ ようこそ！誰でもコンサート	すべての指標で目標を上回り、特に有料入場者数が大きく増加した。2 日間開催および土曜日設定により、一般来場者の増加につながったと考えられる。
公-06	トリフォニーホール・パイプオルガン・クリスマス・コンサート 2025	すべての目標値を達成し、多くの来場者から高い満足度を得た。今後も企画内容の継続的なブラッシュアップと工夫により、魅力の維持・向上を図る必要がある。
公-07	新日本フィル ニューイヤー・コンサート 2026 in すみだ曳舟《落語＆オーケストラ》	概ね目標を達成した一方で、チケット料金に関する評価のみ目標未達となった。価格設定は継続事業として比較的低廉に設定しているものの、リピーター層の増加により、来場者からは概ね妥当な価格として受け止められていたものと考えられる。
公-08	トリフォニーホール・ゴルトベルク変奏曲 2025 ダヴィッド・フレイ ピアノ・リサイタル	全体として目標未達ではあるが、満足度は高い水準を維持した。継続実施している自主企画として、料金設定および広報手法の見直しが必要である。
公-09	ミシェル・カミロ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団	入場者数は目標に届かなかったが、高価格帯にもかかわらず料金の妥当性については一定の評価を得た。今後は広報の強化により来場者数の増加が見込まれる。

公-10	すみだトリフォニーホール特別寄席「すみだと落語」	全体として目標未達であるが、入場者数はほぼ満席に近く、目標設定自体に課題があった可能性がある。一方で、満足度および料金評価は高水準とは言えず、内容面も含めた再検討が必要である。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	①観客満足度 ②フランチャイズオーケストラ活用事業数 ③区民モニター制度（外部評価）の実施	①アンケート満足度回答数上位第１位の平均 75%以上 ②事業数 10 事業以上 ③区民によるホール及び事業への満足度 60%以上	①79.1% ②12 事業 ③56.4%
人材養成事業			
普及啓発事業	①全事業の参加者数 ②ジュニアオーケストラ団員数 ③ブラスクリニック参加者数 ④すみだ音楽祭鑑賞者数	①全事業での総参加者数 13,000 人以上 ②団員数 80 人以上 ③100 人以上 ④5,000 人以上	①14,634 人 ②90 人 ③88 人 ④5,248 人
共生社会事業			

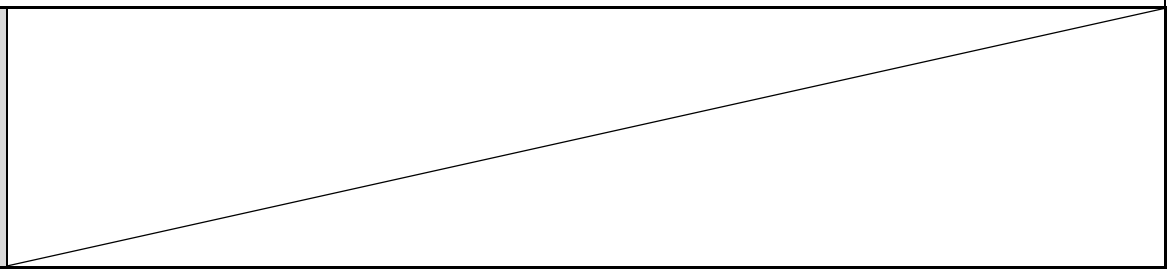
（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	観客満足度は目標値 75%に対し 79.1%と達成した。一方で、区民のホールに対する満足度は 56.4%にとどまり目標未達となった。アンケートコメントではトイレの様式化などの要望が出されており（現在一部和式のものがある）、今後の大規模修繕に向けて、検討が必要である。

人材養成事業	
自己評価	

普及啓発事業	
自己評価	ブラスクリニックの参加者数は目標に届かなかったが、その他の項目はいずれも目標を上回る結果となった。今後は、音楽文化に関する裾野の拡大と気軽に音楽に触れられる機会の提供に向け、さらなる工夫が必要である。

共生社会事業	
自己評価	

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・(国際プレゼンスの向上) 海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流) アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組) 在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
①海外アーティスト招聘事業数 ②海外アーティストの招聘人数(主催公演全体) ③観客の反応（対象事業の満足度数第１位)	①3 事業以上 ②100 人以上 ③70%以上	①6 事業 ②103 人 ③85.6%

（※3）・(※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	各指標はいずれも目標を上回った。特に観客満足度は 85.6%と非常に高く、好評を得た。今後も海外アーティストの招聘を継続しつつ、ニーズに即した事業企画を推進していく必要がある。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※2）	
	・自由設定の観点（任意）（※3）	

（※2）・（※3）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※4）	目標（値）（※5）	実績（値）
①区民団体の参画数 ②トリフォニーホール・チケットメンバーズの新規会員数 ③子供対象事業の参加率（みんなで楽しむオーケストラ） ④貸館利用者の満足度（「満足」「ほぼ満足」の回答率	①25 団体以上 ②5,000 人以上 ③300 人以上 ④85%以上	①29 団体 ②5,479 人 ③506 人 ④75.9%

（※4）・（※5）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	チケットメンバーズの会員数は増加し、事業参加・鑑賞の裾野が広がっている。また、子ども向け事業の参加率も向上しており、今後も継続的な参加者増に取り組む必要がある。 一方で、貸館利用者の満足度は目標値を下回った。施設の老朽化への対応に加え、サービス水準の一層の向上が課題である。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・(プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・(アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
①若年層の利用者数（区内在学 鑑賞数） ②子育て世代に向けた事業数 ③主催事業託児サービス利用者 ④障害者団体参加者数(みんなで楽しむオーケストラ) ⑤アウトリーチ事業の実施数	①150 人以上 ②2 事業以上 ③50 人以上 ④15 団体以上 ⑤区内 60 か所以上	①237 人 ②2 事業 ③17 人 ④53 団体 ⑤75 か所

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	概ね各指標は目標を上回ったが、託児サービスの利用者数は目標未達となった。託児サービスを利用する世代に向けた企画検討や広報展開が必要だと思われる。さらに、従来の公演への来場が難しい層に対して子育て世代向け事業の充実を図り、全体の利用者増加につなげていく必要がある。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※2）
	・ ・ ・

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。
戦後 80 年の節目となる令和 7 年にあたり、これまで 3 月を中心に実施してきた平和祈念音楽事業を拡充し、終戦月である 8 月までを事業期間として位置付けた。3 月から 7 月にかけてアウトリーチ事業を継続的に展開し、その集大成として 8 月にホール公演「戦後 80 年、受け継ぐ平和への想い」を開催。また、東京都慰霊堂において佐渡裕指揮による無料公演（事前申込制）を実施し、鑑賞希望者の募集には 2,000 人を超える応募が寄せられるなど、社会的関心を多く集めることができている。 さらに、「みんなで楽しむオーケストラ！ようこそ誰でもコンサート」は 2 日間開催としたことで、従来を大きく上回る来場者数を達成し、区内全域の保育園・幼稚園からの来場につながった。鑑賞後には子どもたちがオーケストラごっこを楽しみ、楽曲を口ずさむ様子が報告されるなど、音楽への関心の高まりが確認されており、情操教育の一助としてつながったと考える。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	各種助成・補助金獲得に向けて進めている。	年間の計画のもと、事業を推進している。
目標(値)（※2）	助成金　2事業以上 補助金　10事業以上	今後も継続して実施を進めていく。
実績(値)	助成金　2事業 補助金　14事業	広報計画において改善、見直すべき点があり、一部事業において集客面で苦戦が見られた。
団体の自己評価	目標を達成し、財源確保に努めたことにより安定的な事業運営ができている。	今後は全体的な広報戦略をより計画的に推進し、集客力の向上を図る必要がある。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場･音楽堂等との事業連携や協力･支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	コンサートホール企画連絡会議にて協議の場を設け、ホールの課題協議を行っている。	設置者およびフランチャイズオーケストラとの定期的な協議の場を設けるとともに、必要に応じ随時協議を行っている。
目標(値)（※2）	年2回以上	年12回以上
実績(値)	年2回	年19回
団体の自己評価	日常の事業運営において外部の意見を取り入れることで、多様な課題解決の糸口を得ている。	主催事業を始めとする全体的な協議を定期的に行うことにより、円滑な事業運営ができている。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	芸術面の統括をおこなう人材は配置されていない。但し、来場者満足度を高める等の視点から、音楽等事業に関するアドバイザーを配置している。	長期的な視点で劇場運営の統括については、事務事業の業務執行を統括する常務理事を配置している。
目標(値)（※2）	今後について検討を行っている。	持続的、安定的な運営を進めている。
実績(値)	人材は配置されていない。	経営実務者が業務執行を統括していることによって、安定的な運営を行っている。
団体の自己評価	今後も劇場運営の在り方とともに協議検討を行っていく。	継続して長期的視点を持って事業運営に努めていく。

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	外部より芸術面におけるアドバイザーを登用し、事業企画の相談を行い、助言を得ている。	管理職については設置者からの出向が主であるが、内部より管理職への登用が進んでいる。
目標(値)（※2）	アドバイザーの元、人材育成に向けた強化を行っている。	内部からの管理職への登用を推進していく。
実績(値)	アドバイザーからの積極的な提案により、事業計画の充実が図られている。	組織体制に応じた登用を図っている。
団体の自己評価	今後もアドバイザーの助言を踏まえ、事業企画の精度向上と運営体制の強化を進めていく。	運営体制と時勢に合わせた整理を行っていく。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	年齢バランスを考慮し人材確保を行っている。	現在管理職 8 人に対し女性管理職は 2 名となっており、比率は 25%となっている。
目標(値)（※2）	将来を見据え計画的に人材確保を進める。	今後管理職、リーダー職への登用についても検討する。
実績(値)	年齢バランスを考慮しつつ、人材確保を行っている。	検討を進めている。
団体の自己評価	今後も同様に若年層の雇用強化を進めていく。	今後も同様に進めていく。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	育児・介護による休業制度を設けている。	コンプライアンスの順守規定を策定している。
目標(値)（※2）	各世代が直面する状況に応じた柔軟な体制を強化する。	社会情勢に応じた規定改定を進めていく。
実績(値)	短時間勤務制度を活用し、柔軟な勤務体制を整備している。	研修について年間を通じて必要な時期に実施している。
団体の自己評価	休業制度の活用をこれまでと同様に推進していく。	計画的に研修を行っていく。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	ハラスメント防止対策を策定している。	公演ごとに契約書面を交わし適正に進めている。
目標(値)（※2）	策定内容に基づき研修等を実施していく。	継続して適正な契約書を交わしていく。
実績(値)	策定内容に基づき研修等を実施している。	適正な契約書を交わしている。
団体の自己評価	今後も社会情勢の変化に応じて対策の見直し・更新を継続していく。	今後も適正な契約書を交わしていく。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
公演事業として一部公演で入場者数・入場率が目標未達となり、知名度向上や広報手法、価格設定に課題が残った。一方で、来場者満足度は高水準を維持しており、内容面は概ね評価された。今後は広報強化と価格・目標設定の見直しを図りつつ、企画の魅力向上を継続する必要がある。 普及啓発事業は、一部で参加者数が目標に届かなかったものの、全体としては目標を上回り、音楽への関心喚起に一定の成果が見られた。今後は裾野拡大に向け、参加しやすい機会の充実が求められる。 国際性については、各指標が目標を上回り、特に観客満足度において高い評価を得た。引き続き海外アーティストの招聘とニーズに即した事業展開が必要である。 多様性とアクセシビリティは概ね良好であったが、託児サービスの利用者数が少ない点が課題として残った。今後は子育て世代等への対応強化により、利用者層の拡大を図る必要がある。 地域文化拠点機能では、会員数増加や子ども向け事業の参加率向上が見られた一方、施設の老朽化による貸館利用者満足度の向上が課題となっている。サービスの在り方とあわせた改善が求められる。 総括として、各事業は概ね良好な成果を上げているものの、集客面や一部サービスに課題が残る。今後は広報・価格設定の最適化、対象層に応じた事業設計の強化、施設・サービスの改善を進め、持続的な事業運営と利用者拡大につなげていく必要がある。

備考